

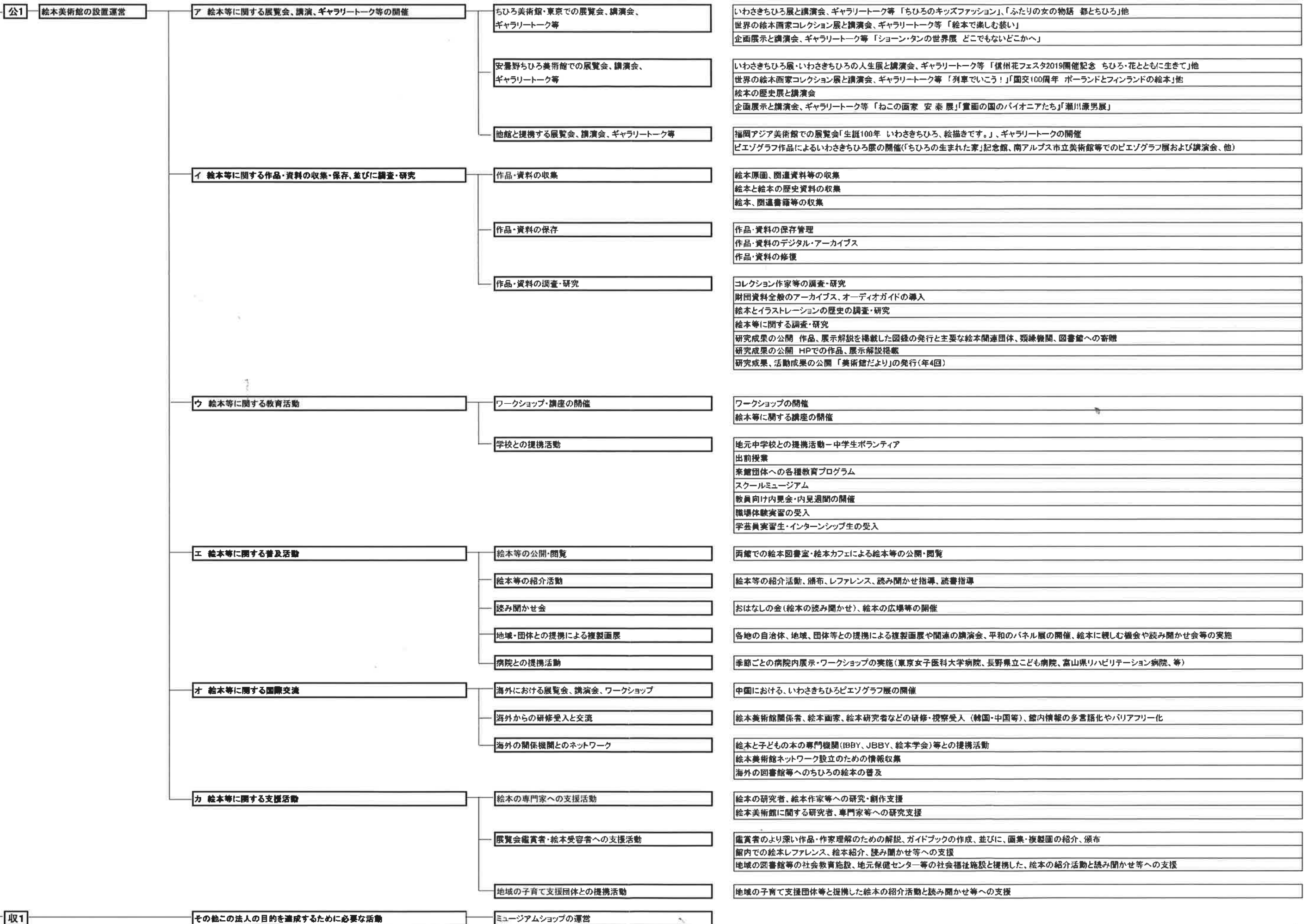
2019（平成31）年度 事業計画書

2019年4月1日～2020年3月31日

I	2019年度事業計画 事業の体系図	1
II	2019年度事業計画一覧	2

公益財団法人いわさきちひろ記念事業団

本部



公益財団法人いわさきちひろ記念事業団 2019(平成31)年度事業計画一覧

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
公1 絵本美術館の設置運営				
ア 絵本等に関する展覧会、講演会、ギャラリートーク等の開催				
■ちひろ美術館・東京での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	ちひろ美術館×文化服装学院 共同企画 ちひろのキッズファッション	美しい色調やモダンなデザイン、着心地のよさそうな服を着た子どもたちが登場するちひろの絵。こうした作品には、ちひろ好みのデザインやファッションセンスがちりばめられている。本展ではちひろが描いたおしゃれな子どもたちに焦点をあてて紹介する。あわせて、文化服装学院との共同企画として、服装科の学生たちが授業のなかで取り組んだ「ちひろの絵からイメージを拡げて制作した子ども服」をデザイン画などの資料とともに展示する。	3月1日～5月6日	ちひろ美術館・東京
	ちひろが描いた日本の児童文学	ちひろが描いた日本の児童文学をテーマに、絵本とは異なる側面からちひろが残した子どもの本の仕事を辿るとともに、戦後日本の児童文学の歴史に光を当てる。戦前から受け継がれる日本独自の情趣、社会問題をテーマとした作品、1960年代当時、急速に過去の記憶となりつつあった戦争をテーマにした作品、失われゆくふるさとの自然を描いた作品などから、ちひろが活躍した時代を浮き彫りにする。	5月11日～7月28日	ちひろ美術館・東京
	「ちひろさんの子どもたち」 谷川俊太郎×トラフ建築設計事務所	谷川俊太郎の詩とちひろの絵——子どもの目を失わず、長年の修練で磨きあげてきたふたりの表現は、異なるジャンルと個性でありながら、共鳴し合って子どものいのちをうたいあげる。本展では「子ども」をテーマにちひろと谷川がコラボレートするとともに、トラフ建築設計事務所が子どものための体験型の空間をつくりだす。	8月2日～10月27日	ちひろ美術館・東京
	ふたりの女の物語 都とちひろ	写真をはじめた28歳のときから、母の旧姓を名乗ってきた写真家・石内都。石内は「いわさきちひろ」の人生を知るにつけ、2歳しか年の違わない自分の母親「石内都」との重なり具合に気付いたという。本展では、石内がいわさきちひろの遺品を撮り下ろした新作とともに、自身の母の身体と肌身につけていた遺品を撮影した「Mother's」を展示する。石内の視点を通して同じ時代の空気を吸って生きたふたりの女の物語が語られる。	11月1日～2020年1月31日	ちひろ美術館・東京
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション展 絵本で楽しむ装い	ちひろ美術館コレクションのなかから、装いに注目して、その土地の文化や風土が表れた民族衣装や、物語の登場人物を表す装い、絵本を彩った洒落な子どものファッション等が描かれた作品を展示する。絵本ならではの、さまざまな時代や地域、物語のなかの豊かな装いを紹介する。	3月1日～5月6日	ちひろ美術館・東京
【企画展示】	<企画展> ショーン・タンの世界展 どこでもないどこかへ	オーストラリアの画家・映像作家、ショーン・タン(1974～)は1999年に刊行した初めての絵本 <i>The Lost Thing</i> (邦題『ロストシング』)を元に2010年に短篇アニメーション映画を発表し、アカデミー賞の短篇部門の賞を受賞した。タンが手がけたテキストのないモノクロの絵本『アライバル』(<i>Arrival</i>)は、各国語に翻訳されて、日本でも、その独特な世界観と表現方法で、熱狂的な大人ファンを獲得した。本展は、タンの全面的な協力のもとに開催される日本初の大規模な個展となる。	5月11日～7月28日	ちひろ美術館・東京
【講演会】	「ちひろのキッズファッション」展示関連講演会	文化服装学院の朝日真教授が、いわさきちひろの作品に描かれている子どもたちの服装やファッションについて、服飾史の観点から注目し、時代背景やちひろならではの特色を探り、検証を試みる。	3月21日	ちひろ美術館・東京
	「ショーン・タンの世界展」関連講演会	ショーン・タンの展覧会に関連し、彼の絵本や作品の魅力についての講演会を開催する。	会期中	ちひろ美術館・東京
	「ちひろさんの子どもたち」展示関連 トラフ建築設計事務所講演会	トラフ建築設計事務所の鈴野浩一と禿真也が、建築に関する考え方やちひろの「子どものへや」制作にあたっての思いを語る。	8月3日	ちひろ美術館・東京
	「ふたりの女の物語」展示関連 石内都講演会	石内都が、自分の母といわさきちひろについて、また、持ち主亡き後「遺されたもの」を撮影することについて語る。	会期中	ちひろ美術館・東京
【ギャラリートーク】	松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	3月10日、5月19日、8月25日、11月10日	ちひろ美術館・東京
	夏休み子どもギャラリートーク	夏休み期間中、小・中学生を対象としたギャラリートークを行う。	8月19日	ちひろ美術館・東京
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第1、3土曜日	ちひろ美術館・東京

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
■安曇野ちひろ美術館での展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【いわさきちひろ展】	かわいいものが好き—いわさきちひろ展	「かわいいものが好き」と語っていたちひろが描いた子どもや花、犬やねこ、小鳥などの小さく愛らしい生き物たちには、そこに宿る命の輝きを感じられる。本展では、ちひろが好んで描いた“小さく、かわいい”ものたちを展示し、ちひろの感性や表現の工夫、絵に込めた思いを探る。	3月1日～5月13日	安曇野ちひろ美術館
	信州花フェスタ2019開催記念 ちひろ・花とともに生きて	花と子どもの画家と称されるちひろの傍らにはいつも花があった。花を愛で、心通わせる時間は、ちひろの創作意欲を支えていたと思われる。本展では、「ちひろの庭」や「ちひろのアトリエ」、「ちひろの黒姫山荘」などの章に分けて、ちひろが描いた花々の作品を展示し、花に寄せた思いをさぐる。	5月17日～7月16日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ・アンデルセンの世界	ちひろは、日本でも馴染み深い世界の童話の数々を手がけているが、人の世の真実を映し出したアンデルセンの作品は、ちひろが強く心惹かれ、繰り返し描いた童話で、その画業の一端を形成している。本展では、ちひろがアンデルセンの童話を描いた作品を展示し、その解釈や絵画表現の工夫を探る。	7月20日～9月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ・ていねいな暮らし	絵本画家として活躍しながら一家の主婦として家庭を切り盛りしていたちひろは、忙しいなかにも、おしゃれを楽しみ、食事にも手をかけ、家族と過ごす居心地のよい住まいをしつらえた。ちひろの作品やその生き方を通して、「ていねいな暮らし」とはなにかを、現代社会にあらためて見つめ直す。	10月4日～12月15日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの人生	ゆかりの品々や素描・スケッチをはじめ、影響を受けた画家の作品等を展示するとともに、ちひろの人生を紹介するパネルや生前を知る人たちの証言映像、ちひろの技法を拡大して見られるタッチパネル等により、ちひろの絵と人生、その人柄を伝える。	通年	安曇野ちひろ美術館
	子どもの展示室「トットちゃんの部屋」	『窓ぎわのトットちゃん』に登場する電車の教室の一部再現、7つの穴をのぞいて楽しむ「のぞき箱」の他、日々自由に参加できるワークショップなど、トットちゃんの世界を通じて子どもたちの目線で楽しむことのできる展示や活動を行う。	通年	安曇野ちひろ美術館
【世界の絵本画家コレクションの展示】	ちひろ美術館コレクション展「ねこ・ねこ・ねこ」	古くから人と共に暮らし、身近な存在だったねこは、絵本や絵画のなかにも数多く描かれてきた。本展ではちひろ美術館コレクションのなかから、ユゼフ・ヴィルコンの『ブラウンさんのネコ』、和田誠の『ねこのジジミ』など、さまざまな技法やデザインで描かれた、ねこの作品を展示する。	3月1日～5月13日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション展 列車でいこう！	絵本画家たちは、さまざまな列車を作品や絵本に描いてきた。リアルに描かれたものから、想像の世界の不思議な列車まで、その表現はさまざまである。本展では、コレクション作品の中から、蒸気機関車から地下鉄まで、列車のあれこれを描いた作品を紹介する。また、当館から一番近い場所にある電車、トットちゃん広場の電車の教室にも注目する。	5月17日～7月16日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション展 世界のおはなし	古くからの民話や昔話、アンデルセンやグリムの童話など、100年以上の時を経て今なお世界中で愛されている物語は、洋の東西を問わず多くの絵本画家たちを魅了してきた。同じ物語を描いても、画家によって技法や表現方法が異なり、個性豊かな作品が生まれた。コレクション画家たちが描いた、おはなしの世界を紹介し、絵から物語を読み解く楽しさを感じられる展示とする。	7月20日～9月30日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろ美術館コレクション展 国交100周年 ポーランドとフィンランドの絵本	2019年、日本とポーランドは国交樹立100周年、そしてフィンランドは外交関係樹立100周年を迎える。これを機に、コレクション作家からポーランドのヴィルコン、ガウダシンスカ、グラビヤンスキ、スタシス、フィンランドのヴォリ、タイナ、カイラの作品を紹介する。	10月4日～12月15日	安曇野ちひろ美術館
【絵本の歴史展示】	絵本の歴史	「死者の書」や時禱書、絵巻物から20世紀初頭の絵本にいたるまで、絵本とイラストレーションの歴史に関わる作品・資料を、「手描き本の時代」「版本の時代」「子どもの本の時代(印刷本)」の3つの時代に分けて、紹介する。	通年	安曇野ちひろ美術館
【企画展示】	<企画展> 童画運動の旗手—ねこの画家 安泰展	1920年代後半から「ゴドモノクニ」に絵を描き始め、童画の第二世代といわれる仲間たちのなかで中心的な役割を担ってきた安泰(1903～1979)は、戦後も真っ先に童画の再興に取り組み、リアリズムに根差した愛らしい動物たちを、子どもの本に描き続けた。本展では、得意としたねこの絵を中心に、安泰の絵本や童画の数々を紹介するほか、戦前から戦後にかけての童画界の動向とそこに果たした安の役割を、数々の資料で紹介する。	3月1日～5月13日	安曇野ちひろ美術館
	<企画展> 童画の国のパイオニアたち—日本童画家協会の7人—	大正から昭和にかけて、「子供之友」「赤い鳥」「ゴドモノクニ」などの芸術性の高い絵雑誌が数多く刊行された。その黄金時代を支えた画家たちは、一つの芸術ジャンルとしての「童画」を確立すべく日本童画家協会を設立し、互いに競い合いながら、子どものためのイラストレーションを描いた。本展では、日本童画家協会を結成した岡本帰一、川上四郎、清水良雄、武井武雄、初山滋、深澤省三、村山知義の作品を紹介し、彼らが目指した「童画」を展覧する。	7月20日～9月30日	安曇野ちひろ美術館
	<企画展> 瀬川康男展 —いのち物語—	森羅万象のいのちの根源を描き出した画家・瀬川康男(1932～2010)。古今東西の美術を取り込み、卓越した技法で作品を描き出していた画家は、1977年以降、植物の写生に没頭する。自然が生み出す形に真摯に向き合ったことを機に、その表現は、線や点の濃密な集合体による独特な世界を生み出していった。本展では、絵本原画やタブローのほか、植物スケッチ、絵本制作の資料などを展示し、画家が持つ多面的な表現世界に光を当ててその源泉をさぐる。	10月4日～12月15日	安曇野ちひろ美術館
【講演会】	「列車でいこう」展示関連講演会	鉄道専門家が、展示作品に描かれた列車の解説や「トットちゃん広場」の電車の教室「モハ」「デハニ」の由来や魅力について語る。	会期中	安曇野ちひろ美術館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
【講演会】	「童画の国のパイオニアたち」展示関連講演会	イルフ童画館の学芸員による講演会を開催するとともに、武井武雄の刊本や「コドモノクニ」の複製版を、参加者が実際に手にして見ることのできる機会も提供する。	会期中	安曇野ちひろ美術館
	「瀬川康男展」関連講演会	展示会の担当学芸員が、瀬川康男の画業とその魅力について語る。	10月19日	安曇野ちひろ美術館
【ギャラリートーク】	「ちひろ・ていねいな暮らし」展示関連 松本猛ギャラリートーク	いわさきちひろのひとり息子・松本猛が、母の思い出や作品にまつわるエピソード、展示の見どころなどを語る。	10月5日	安曇野ちひろ美術館
	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク	開催中の各展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説する。	毎月第2、4土曜日	安曇野ちひろ美術館
■他館と提携する展覧会、講演会、ギャラリートーク等				
【展覧会】	生誕100年 いわさきちひろ、絵描きです。	生誕100年を記念し、ちひろを改めて「絵描き」として捉える展覧会を開催する。新出の資料も交えて生涯を辿りながら作品を分析し、今の時代の中で改めてその魅力を探るとともに、童画家としてのちひろのイメージの刷新に挑む。	4月20日～5月26日	福岡アジア美術館(福岡県福岡市)
	ピエゾグラフ作品によるいわさきちひろ展	ピエゾグラフによる複製画展を、開催希望自治体、団体、施設と協力をして行う。合わせてギャラリートークや講演会、水彩技法ワークショップなども実施する。	通年	「ちひろの生まれた家」記念館(福井県越前市)
			4月13日～5月19日	丹波市立植野記念美術館(兵庫県丹波市)
			7月13日～8月31日	南アルプス市立美術館(山梨県南アルプス市)
10月12日～11月24日	神奈川県立地球市民かながわプラザ(神奈川県横浜市)			
【ギャラリートーク等】	展示担当者、普及担当者によるギャラリートーク等	開催中の展示の見どころ等を、作品を見ながら展示担当者や普及担当者が解説するギャラリートーク、いわさきちひろの水彩技法体験ワークショップ等を開催する。	随時	

イ 絵本等に関する作品・資料の収集・保存、並びに調査・研究

作品・資料の収集	絵本原画、関連資料等の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本原画の収集を進める。	通年	両館
	絵本と絵本の歴史資料の収集	時代のエポックとなり、未来に継承すべき優れた芸術性を持つ絵本の資料・絵本の歴史資料の収集を進める。	通年	両館
	絵本、関連書籍等の収集	優れた芸術性を持つ、魅力的な絵本の収集を進める。	通年	両館
作品・資料の保存	作品・資料の保存管理	絵本原画を中心とした収蔵作品の適切な保存管理を行なうとともに、画像データベース等での作品整理を進める。	通年	両館
	作品・資料のデジタル・アーカイブ	いわさきちひろと世界の絵本画家の作品・資料のデジタル・アーカイブを進める。	通年	両館
	作品・資料の修復	必要に応じて作品や資料の修復を行う。	随時	両館
作品・資料の調査・研究	コレクション作家等の調査・研究	両館で開催する展示、ならびに他館と提携して行う展覧会において、コレクション作品の表現・技法、作家の人生、芸術観、時代背景等について、調査・研究を行い、調査資料のドキュメンテーションを進める。生誕100年の展示、研究を活かしながらいわさきちひろ研究をさらに深めていく。また、戦前から戦中にかけての「日本童画家協会」「日本童画会」等の童画運動について調査を進める。	通年	両館
	財団資料全般のアーカイブ	いわさきちひろの作品や遺品などの一次資料、一次資料を基に制作された印刷物等の二次資料、その一次・二次資料にまつわる資料等を網羅的に集約、管理するためのアーカイブ、ならびに検索システムの構築を3年計画で進める。2019年度は、そのための調査研究を行う。	3年間	両館
	オーディオガイドの導入	これまでのいわさきちひろと絵本の研究に基づき、ちひろとコレクション作家の人と作品の紹介、ちひろ美術館の基本的な情報を来館者に伝えるためのオーディオガイドを多言語で導入し、来館者が日ごろの研究や活動成果を広く享受できる環境を整備する。	通年	両館
	絵本とイラストレーションの歴史の調査・研究	両館で開催する展覧会ならびに、他館と協力して行う絵本の歴史展等に向けて、絵本とイラストレーションの歴史に関する調査・研究を進める。	通年	両館
	絵本等に関する調査・研究	ショー・タンや安泰、瀬川康男等、新旧の絵本の表現、テーマ、絵本の造形について調査・研究を進める。	通年	両館
	研究成果の公開 作品、展示解説を掲載した図録の発行と主要な絵本関連団体、類縁機関、図書館への寄贈	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、図録等を通じて公開する。また、それら図録等は、絵本関連団体、類縁機関、国際子ども図書館等の主要な図書館へ寄贈し、研究の一助としてもらう。	通年	両館
	研究成果の公開 HPでの作品、展示解説掲載	調査、研究の成果を展覧会等に活かすとともに、作品解説、展示解説等にまとめ、逐次、HPにアップロードし、国内外にむけて発信していく。	通年	両館
研究成果、活動成果の公開 「美術館だより」の発行(年4回)	研究や活動の成果を、展示紹介、活動紹介等にまとめ、年4回発行する「美術館だより」やHPを通じて、公開していく。	通年	両館	

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
ウ 絵本等に関する教育活動				
ワークショップ・講座の開催	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。 *文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業(予定)	8月5～7日、2020年1月2～3日	ちひろ美術館・東京
	親子で楽しむ文化講座 わらべうたあそび	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、わらべうたあそびの会を開催する(講師:服部雅子・西東京市もぐらの会代表、はとさん文庫主宰)。*文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業(予定)	3月30日、6月29日、9月7日、12月7日	ちひろ美術館・東京
	あかちゃんのための鑑賞会	0、1、2歳の乳幼児とその保護者を対象にした、あかちゃんのための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。*文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業(予定)	年2回	ちひろ美術館・東京
	子どものための鑑賞会	3歳児～小学1年生とその保護者を対象にした、幼児～児童のための鑑賞会を開催する(講師:富田めぐみ・NPO法人赤ちゃんからのアートフレンドシップ協会代表)。*文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業(予定)	年2回	ちひろ美術館・東京
	子どもの幸せと平和を考える講座 親業講演会「—今日から実践できる— 子どもに気持ちが伝わる話し方」	「親業訓練」を通して、親子のよりよいコミュニケーションを学ぶ(講師:田中満智子・親業訓練協会インストラクター)。 *文化庁:平成31年度地域と共働した博物館創造活動支援事業(予定)	10月	ちひろ美術館・東京
	「ちひろさんの子どもたち」展示関連企画 ワークショップ「帽子を描こう」	トラフ建築設計事務所の「子どものへや」で、子どもたちがちひろの絵とのコラボレーションが楽しめるワークショップを常時開催する。	8月2日～10月27日	ちひろ美術館・東京
	展示関連のおはなしの会	ねこや電車、アンデルセンの紙芝居など、展示に関連した絵本や紙芝居を紹介するおはなしの会を開催する。	4月20日、6月15日、7月6日、9月7日	安曇野ちひろ美術館
	「ちひろ・花とともに生きて」展示関連企画 ちひろの花めぐりツアー	担当学芸員のギャラリートークとともに、安曇野ちひろ公園の花や樹木について、ちひろ公園を巡りながら、トットちゃん広場サポート隊が解説を行う。	5月19日	安曇野ちひろ美術館
	「ちひろ・花とともに生きて」展示関連企画 ワークショップ「花を楽しむ」	担当学芸員のギャラリートークとともに、生花でフラワーアレンジメント作りを楽しむワークショップを開催する。	6月1日	安曇野ちひろ美術館
	「ちひろ・ていねいな暮らし」展示関連企画 ワークショップ「花のある暮らし」	担当学芸員のギャラリートークとともに、花のある暮らしを楽しむためのワークショップを開催する。	11月16日	安曇野ちひろ美術館
	ワークショップ ちひろの水彩技法体験	いわさきちひろの水彩技法の特徴のひとつである「にじみ」を使って、実際に作品を制作するワークショップを行う。	8月1日～16日	安曇野ちひろ美術館
	あかちゃんと保護者のための鑑賞会	「ベビーカーでお出かけしよう!」と題して、乳幼児とその保護者を対象に、子どもと一緒に美術館を楽しめる、ファーストミュージアムデーを開催する。展示を中心に館内各所での鑑賞会や、絵本の読み合い、ふれあい遊びも行う。長野県の「いい育児の日」の11月19日にも開催する。	3月16日、4月18日、11月19日	安曇野ちひろ美術館
	ちひろの絵による『窓ぎわのトットちゃん』ワークショップ	安曇野ちひろ公園トットちゃん広場と安曇野ちひろ美術館館内において、ちひろの絵が数多く掲載されている『窓ぎわのトットちゃん』の様々なエピソードを元に、関連したワークショップ等を、地域の人々や地元の学校の協力を得て、開催する。	随時	安曇野ちひろ公園・安曇野ちひろ美術館
	ちひろ忌	いわさきちひろの命日にあわせてギャラリートーク等を行い、ちひろの業績や人生を伝えとともに、世界中の子どもの幸せと平和を願ったちひろの思いを、来館者ともに考える機会とする。	8月8日	両館
学校との提携活動	地元中学校との提携活動—中学生ボランティア	松川中学校と連携し、夏休み期間中、中学生ボランティアを育成し、来館者を対象にした、当館での体験ワークショップ、ガイドツアー、絵本の読み聞かせ等の活動を行なう。	8月1日～16日	安曇野ちひろ美術館
	出前授業、出前講座	いわさきちひろやちひろの絵の魅力を伝え、その技法を体験するワークショップを含めた出前授業、出前講座を、学校等に向いて実施する。	随時	両館
	スクールミュージアム	長野県内の希望校を対象に、展示会の作り方を指導、複製画等の貸し出しを行い、生徒の力で展示会が開催できるよう生徒キュレーターを育成を行う。	随時	安曇野ちひろ美術館
	教員向け内見会・内見週間の開催	教員を対象とする内見会・内見週間を開催、博学連携の活動を行う。	随時	両館
	職場体験実習の受入れ	練馬区近辺、松川村近辺の中学校からの職場体験実習を受入れ、美術館業務を体験してもらい、博学連携の活動とする。	随時	両館
	学芸員実習、インターンシップ生の受入	学芸員実習希望者の受入と、大学などからのインターンシップ生の受入を行う。	随時	両館
エ 絵本等に関する普及活動				
絵本等の公開・閲覧	両館での絵本図書室・絵本カフェによる絵本の公開・閲覧	長きに渡って愛され続ける絵本とともに、新刊等幅広い国内外の絵本を、絵本の専門美術館としての視点で選書し、芸術性に優れた魅力的な絵本を配架し、両館の絵本図書室・絵本カフェ等での閲覧に供する。	通年	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
絵本等の紹介活動	コレクション作家・企画展作家・その他の世界の絵本作家の絵本等の紹介、頒布、レファレンス、読み聞かせ指導、読書指導	当館の視点で選書した国内外の絵本を、絵本図書室、HP等で紹介、普及、頒布するほか、どのような絵本を選ばよいか、どのように読めばよいか等々、来館者をはじめ、幅広い求めに応じて、適宜、選書や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、日々の暮らしの中で身近に絵本を楽しめるよう支援していく。	通年	両館
読み聞かせ会	おはなしの会(絵本の読み聞かせ)、絵本の広場等の開催	絵本の理解を深め、展示鑑賞をより充実したものとするため、両館それぞれで、定期的に絵本の読み聞かせ会を開催する。また同様に、学校・保育園等からの団体鑑賞に際して、読み聞かせを行っていく。	随時	両館
地域・団体との提携による複製画展	各地の自治体、地域、団体との提携による、複製画展等の開催	各地の自治体、地域、団体等の求めに応じて、複製画展や関連の講演会を開催するとともに、絵本に親しむ機会を設け、読み聞かせ会等を実施する。 長野県が主催する第36回全国都市緑化信州フェア「信州花フェスタ2019～北アルプスからの贈りもの～」のメイン会場・長野県松本平広域公園内やまびこドーム内にて、ちひろの花と子どもの作品イメージをもちいたインスタレーションによる展示を行い、来場者が楽しめる空間をつくる。トラフ建築設計事務所が設計したワークショップテーブルを設置、ボランティア市民が中心となってちひろの水彩技法体験ワークショップをおこなう。そのためのボランティア育成支援を行う。	5月25日～6月16日	信州花フェスタ2019メイン会場(長野県松本平広域公園)
	希望する施設・団体・学校との提携による、平和のパネル展の開催	ちひろの平和への願いを伝えるために、平和の絵本2冊のパネルを、希望する施設・団体・学校に貸し出す。	随時	両館
病院との提携活動	季節ごとの病院院内展示・ワークショップの実施	来館が難しい患者やその家族を対象に、病院内での複製画展を行うとともに、絵本に親しむ機会を設け、求めに応じて、院内での読み聞かせ会、水彩技法体験ワークショップ等を実施する。	随時	東京女子医科大学病院、聖路加国際病院、長野県立こども病院、埼玉医科大学総合周産期母子医療センター、国立成育医療研究センター、同センター内子どもホスピス「もみじの家」、富山県リハビリテーション病院・こども支援センター

オ 絵本等に関する国際交流

海外における展覧会・講演会、ワークショップ	中国における、いわさきちひろピエゾグラフィ展	120点のピエゾグラフィにより、いわさきちひろの画業の全体を紹介する展示を中国の各地において開催する。	4月以降	中国 各地の開催地
海外からの研修受入と交流	海外の絵本関係者の研修・交流	海外の絵本画家や編集者など絵本関係者を対象に、求めに応じて絵本に関する研修を受け入れる。あわせて地元の子もたちとの交際交流を行い、相互理解、絵本文化の普及を促進する。	随時	両館
	アジアや世界の絵本関係者の視察・調査等の受入	世界初の絵本美術館として、アジアや世界の絵本や図書館、美術館関係者に当館の展示や保存技術、運営や理念等を紹介するために、視察に対応する。	随時	両館
	館内情報の多言語化やバリアフリー化	さまざまな国やニーズをもった来館者に対応すべく、館や展示の紹介等をバリアフリー化していく。	随時	両館
海外の関係機関とのネットワーク	絵本と子どもの本の専門機関(IBBY、JBBY、絵本学会)等との提携活動	絵本と子どもの本の国際的な専門機関であるIBBY(International Board on Books for Young People)や、国内の専門機関であるJBBY、絵本学会、全国絵本ミュージアムネットワーク等との交流を深め、絵本文化の発展のための相互協力に努める。	随時	両館
	絵本美術館ネットワーク設立のための情報収集	国を超えた絵本美術館ネットワークを構築するために、調査を行い、情報交換を行っていく。	随時	両館
	ポーランド・フィンランドの絵本関係者との交流	安曇野ちひろ美術館で開催する展覧会「ポーランドとフィンランドの絵本」に関連し、日本・ポーランド年、日本・フィンランド年である今年を好機として、未だ、いわさきちひろとちひろ美術館を知る人が少ないそれぞれの国の絵本作家や絵本関係者と交流を深め、今後の普及に繋げていく。	通年	両館
	海外の図書館等へちひろや日本の絵本画家の絵本の普及	海外の国際交流基金や公立図書館等に、ちひろや日本の絵本画家の絵本を紹介し、普及に努める。	随時	両館

カ 絵本等に関する支援活動

絵本の専門家への支援活動	絵本の研究者、絵本作家等への研究・創作支援	絵本の研究を目指す学生、専門家、また、絵本作家等の絵本の専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団コレクションの絵本原画、絵本、資料を活かして研究や活動を支援していく。	随時	両館
	絵本美術館に関する研究者、専門家等への研究支援	絵本美術館について学ぶ学生や専門家を対象に、求めに応じて、それぞれの研究テーマを精査した上で、当財団の絵本専門美術館の設置・運営に関する経験と実績、資料を活かした研究や活動を支援していく。	随時	両館
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	鑑賞者のより深い作品・作家理解のための解説、ガイドブックの作成、並びに画集・複製画の紹介、頒布	鑑賞者が作品や作家に興味を持ち、理解を深めるための手助けとして、解説やガイドブック、ワークシート等を作成、配布するとともに、画集や複製画の紹介、頒布等を行い、それらを通して鑑賞を助ける。	随時	両館

事業	個別事業名	実施内容	実施時期	実施場所
展覧会鑑賞者・絵本受容者への支援活動	館内での絵本レファレンス、絵本紹介、読み聞かせ等への支援	絵本の問い合わせ等に随時対応する他、来館者を対象に絵本の紹介や、読み聞かせの方法等についてアドバイスを行う等、支援をしていく。	随時	両館
	地域の図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設と提携した絵本の紹介活動と読み聞かせ等への支援	地域の保育園、幼稚園、学校、図書館等の社会教育施設、地元保健センター等の社会福祉施設等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館
	地域の子育て支援団体との提携活動	地域の子育て支援団体やお母さん方のグループ等と協力し、求めに応じて、絵本の選び方や読み聞かせの方法等についてアドバイスを行い、地域住民が生活の中で日常的に絵本を楽しめるよう支援していく。	随時	両館

収1

その他この法人の目的を達成するために必要な活動	ミュージアムショップの運営	来館者の展覧会鑑賞がより豊かなものとなるよう、ミュージアムショップの運営を行う。	通年	両館
-------------------------	---------------	--	----	----